

*今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動への取組と自己評価

令和7年度はインフルエンザによる学年や学級閉鎖がありましたが、大きな事故等がなく、教育活動は計画通り実施することができました。

本校で行なった今年度の「特色ある教育活動」は、

- 伝統文化理解～太鼓のワークショップと公演（太鼓と芝居のたまっ子座）
- 国際理解教育～留学生から学ぶ世界の文化（都立大との連携）
- 子供を笑顔にするプロジェクト～オンラインによる車人形の鑑賞、歴史や仕組みの講義
座員指導による代表生徒の操演体験活動車人形
- セーフティ教室～LINE 講演会、E ネット教室
- 二大学校行事～体育大会、合唱コンクール など

また、小中一貫教育として、小学校6年生への3学年合唱コンクールリハーサル披露会や、部活動体験を実施しました。小学生は中学校生活がより身近に感じられ、中学生は小学校とは違う自分を見てもらえ自尊心や成就感を得ることができました。また、先生方が8つの分科会に分かれて、協議、研究を深め、小中で共通理解ができたことも成果がありました。今後も小中一貫教育を推進していきます。

(2) 重点目標への取組と自己評価（成果と課題）△＝教育活動の目標と方策 ⇒*成果と課題

1) 学力の向上に関すること～「確かな学力」の定着と生きる力を育む教育を推進します。

【学習指導の充実】

△「わかる喜び」「できた達成感」を体得しながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせます。

⇒*「はちおうじっ子ミニマム」や「八王子市学力定着度調査の結果」から各教科小テストの実施等、取り組んでいますが、成果としては課題が残りました。

△主体的・対話的で深い学びを通じて、学びに向かう力の育成を進めます。

⇒*グループでの話し合いやプレゼンテーションの課題を取り入れる等授業改善に取り組みました。今後、学校全体で組織的に取り組んでいくことが課題になります。

△習熟度別指導や土曜授業、放課後の学習会等を活かし、個に応じた支援体制の充実を図ります。

⇒*学校運営協議会の協力のもと開催している放課後学習教室を定期的に利用する生徒が増加しました。定期考査前放課後学習教室ではインフルエンザ罹患者が多かった3学期以外は多くの生徒たちが利用していました。今後も個別最適化された一人ひとりに応じた支援体制を継続していきます。

【特別支援教育の充実】

△「八王子版 特別支援教室運営マニュアル」を踏まえ、特別支援校内委員会、特別支援教室専門員、巡回心理士との連携を密に図り、個に応じた多様な支援体制の確立と合理的配慮のもとで、指導の工夫と充実を図ります。

⇒*昨年度よりも委員会を中心に情報交換や行動記録が共有され「学校サポーター」や「都スクール・カウンセラー」等の活用が効果的にできました。「つながるプラン」の実践が進められています。

【キャリア教育の充実】

△変化の激しい社会に生きるために、自己肯定感を高めさせ、自己の「生き方」について考え、主体的に関わる力を身に付けさせる。

⇒*社会に出て働くための基礎的な力（自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等）等を職場体験や自己理解を促すなどの学習を通して育みました。今後も予測不可能な社会の中で、柔軟に対応し、力強く未来を切り拓いていく「生きる力」を育成していきます。

【小中一貫教育の推進】

△別所中学校グループ（秋葉台小・別所小・別所中）の9年間で育てたい児童・生徒像「変化の激しい社会の課題解決に向けて主体的・創造的に立ち向かう力」の育成を推進していきます。

⇒*夏休みの日程が小学校と合わなかったため小学校のサマースクールでの学習補助はできませんでした。その他の部活動体験や合唱コンクールの合唱披露等で、中学校の様子を小学生にみてもらい、連携が行われました。来年度はサマースクールでの学習補助を再開していきます。

⇒*小中での協議会（学力向上、総合的な学習の時間、生活指導、不登校、ICT、特別支援、学校保健、はちおうじっ子サミット）での意見交換を行い、共通理解を深めました。

⇒*青少年対策委員会主催の「地域清掃」「別所子ども祭り」にボランティアとして生徒が積極的に参加していました。地域の方々や小学生とのふれあいがありました。

2) 健全育成に関すること～自他を大切にし、「豊かな心」を育みます。

【人権教育の推進】

△自他の人格を尊重する精神と規範意識の醸成を図ります。

△いじめや差別、偏見（LGBTQ等への配慮）は基本的人権の侵害であるとの確固たる認識に立ち、根絶を図ります。

⇒*「いじめはどこの学校にもある」との認識をもち、毎週行う「いじめ対策会議」（月に一度は全教職員による「いじめ対策総合会議」）にて生徒の状況や今後の対応策の検討を行い、外部機関との連携を含め組織的に取り組みました。また、個々の教員が生徒との時間を多く共有することで生徒の言動や生活の変化を察知し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応につなげました。しかし、いじめは発生しており、さらに、心の教育等の未然防止の充実が課題となります。

【道徳教育の推進】

△全教育活動を通じて道徳教育を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成します。

△道徳の時間の工夫改善や評価についての研究を行い、特別な教科（道徳科）の充実に向けた取り組みを推進します。

⇒*できるだけ学校生活と関連させながら多面的・多角的に考え、議論し合う道徳の授業を実践してきました。今後も自分事としてとらえられるように、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきます。

【生活指導の充実】

△あ（挨拶をきちんとする）、じ（時間を守る）、み（身だしなみを整える）、こ（言葉づかいを丁寧にする）、し（姿勢を整える）、がしっかりできる生徒を育てます。

⇒*昼休みや放課後の時間に各教員が生徒と接する機会を持つように心がけました。

*学級活動を基盤として、学校行事、学年行事、生徒会活動等の場で多くの生徒が自主的・主体的に

他者と協力し一つのことを成し遂げ、成就感や達成感を味わうことができました。さらに、生徒たちが意欲的に活動ができるように工夫をしていきたい。

△「笑顔あふれる明日も行きたくなる学校」を目指し、学校不適應に陥った生徒へは SC や S S W の活用、家庭・関係諸機関との連携を密に図り対応します。

⇒*「つながるプラン」の具現化として、SC や S S W 等関係諸機関との連携し、個に応じた適切な対応に努めます。「笑顔あふれる明日も行きたくなる学校」に近づくように取り組んでいきます。

3) 安全及び健康づくりに関すること～安心・安全な学校で「健やかな体」育みます。

【安全教育の充実】

△多様な災害を想定した避難訓練を実施し、防災、減災、危機回避能力を身に付けさせると共に、地域の一人として実践できる力を育成します。

⇒*火災や地震、不審者の侵入、Jアラート発令時等、多様な想定での避難訓練に加え、集団下校訓練を実施し、万に備えました。

【健康教育の充実】

△学校保健計画等に基づき、適切な生活習慣、望ましい食習慣の確立に、家庭と連携を図りながら推進します。

⇒*市レクリエーション協会との連携を図る機会はありませんでしたが、「スポーツ・レクリエーション部」は充実した活動でした。

【環境美化活動の充実】

△E S D を推進し、日常の清掃活動を重視し、また環境美化デー（週間）を設定し、安全で清潔な学習環境の維持に努めます。

⇒*生徒会活動や青少年対策育成委員会の地域美化活動に積極的に参加していました。

4) 特色ある学校づくりに関すること～日本の伝統文化のよさを理解し、国際理解教育を推進します。

【特色ある教育活動の充実】

△E S D（持続可能な開発のための教育）、S D G s（持続可能な開発目標～17）の取り組みを推進し、「持続可能な社会の創り手」として一人ひとりが身近でできる具体的な行動を行わせ、「地域の中でよりよく生きる」意欲を高めさせる。さらに、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心などボランティア・マインドの醸成と、「誰一人取り残さない」を合言葉として、共生社会の一員としての自覚と行動力を培います。

⇒*生徒会朝礼や生徒会新聞で「S D G s」の啓発を行い、ペットボトルキャップや使い捨てコンタクトレンズケースの回収等に取り組んでいました。

△校外学習や様々な体験的な学習を通じて、日本の伝統文化の歴史や背景、匠の技などを自分なりに理解を深め、日本の文化をより多くの人に伝えることができる生徒を目指します。

△国際理解教育を通して、異文化理解を深め、国際感覚を磨き、世界の中の一員として貢献できる日本人に育成できるよう努めます。

⇒*校外学習や様々な体験を通じて、広く世界の諸情勢に目を向ける機会をもちました。また、日本文化等の体験により日本人としての自覚を高めると共に、グローバルな視点をもつ力が育まれました。

5) 家庭・地域に関すること～保護者の願い、地域の思いの信託に応え、開かれた学校を目指します。

【保護者・地域・関係諸機関との連携】

△各種の教育活動、学校行事等に外部人材を積極的に活用します。

△学校ホームページや各種のたよりによる情報発信を積極的に行います。

△「地域とともにある学校」として、生徒の豊かな成長を、保護者と地域とが知恵を出し合い、地域運営学校（コミュニティ・スクール）として特色ある学校づくりを目指します。

⇒*学校運営協議会の協力のもと、長期休業中や放課後の「学習教室」の運営、小学校との連携、ジョブトーク等が円滑に行われました。また、毎週末に発行される各学年だよりで生徒の活躍している情報の発信等が行われました。昨年度、課題であった学校ホームページの更新にも取り組みました。しかし、学校評価からも学校の取り組みが十分に伝わっていない結果になり、今後も地域運営学校として、積極的に情報を発信し地域に根付いた学校をめざしていきます。

6) 教職員に関すること～教育公務員（プロ）としての自覚と責任ある職務を遂行します。

【研修の充実】

△若手、中堅、ベテランの教職員が共に学び合う校内OJTを推進します。

△小中一貫教育の推進を図るため、小中合同の研修会や授業研究等を実施し、義務教育9年間を見通した教育活動への取り組みを推進します。

⇒*授業力や学級経営の向上のため、校内研修の実施やOJTを積極的に推進しました。また、小中一貫教育の推進として、「義務教育終了段階において育成すべき生徒」の実現を目指して取り組みました。今後も教職員が必要な研修を計画的に実施していきます。

【サービスの厳正】

△スクールコンプライアンスの遵守を徹底させ、生徒、保護者、地域からの信頼を得ます。

⇒*サービス研修を定期的に行い、常に教育公務員としての自覚と誇りを高めさせました。

(3) 次年度以降の課題と対応策（▲＝教育活動の目標と方策、*＝具体的な方策）

1) 学力の向上に関すること

▲「わかる喜び」「できた達成感」を体得しながら、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせます。

▲生徒の興味関心を引き出す課題や教材の工夫、グループでの話し合いやプレゼン等の生徒が主体的に学習する授業を推進し、生徒の学習に対する意欲を育みます。

*主体的に学びに向かう力を伸ばす校内研修による授業改善

▲「八王子版 GIGA スクール構想」でのドリル型の学習コンテンツを取り入れ、端末を用いた家庭学習の充実を図り、個別最適な学び及び協働的な学びの実践を行います。

*読書活動の励行（朝読書、調べるコンクールへの応募）*放課後学習教室の充実*ベーシックドリル等の活用*はちおうじっ子ミニマムの確実な定着*クラスルームを用いた家庭でのPC 端末使用による反復学習 など

▲別所中学校グループ（秋葉台小・別所小・別所中）の9年間で育てたい児童・生徒像「変化の激しい社会の課題解決に向けて主体的・創造的に立ち向かう力」の育成を推進していきます。

*小中連携の分科会で年間の共通項目の設定*学習支援ボランティア*授業・部活動体験*各学年合唱コンクール優勝クラスの発表披露 など

2) 健全育成に関すること

▲別所中学校グループで「変化の激しい社会の課題解決に向けて主体的、創造的に立ち向かう力」の育成を義務教育9年間で育みます。

*キャリア教育を要とした地域にある人材や教材等を活用した授業実践 *別所生活指導スタンダードの作成 など

▲「安心して学べる別所中」のスローガンのもと、生活指導の充実を図ります。

*◎あ（挨拶をきちんとする）*じ（時間を守る）*み（身だしなみを整える）*こ（言葉づかいを丁寧にする）*し（姿勢を整える）、がしっかりできる生徒の育成。◎重点目標

▲「いじめや暴力のない一人一人にとって心休まり、居心地のよい学校」を目指します。

*「いじめ対策会議、総合委員会」での情報共有 *「QU」の活用 *「子ども見守りシート」やSC、SSWの活用 *いじめ対応の研修会の実施 など

3) 安全及び健康づくりに関すること

▲多様な災害を想定した避難訓練を実施し、防災、減災、危機回避能力を身に付けるとともに、地域の一員として実践できる力を育成します。

*避難訓練、不審者対応訓練、集団下校訓練の実施 *セーフティ教室（SNS等） *食育の推進 *体力向上のための一校1取組 *「八王子市いのちの大切さを共に考える（週間）」の取組 など

▲E S Dの推進、安全で清潔な学習環境の整備を行います。

*美化活動 *地域清掃 など

4) 特色ある学校づくりに関すること

▲E S D（持続可能な開発のための教育）、SDG s（持続可能な開発目標～17）の取り組みを推進し、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指すと共に、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心などボランティア・マインドの醸成と、「誰一人取り残さない」を合言葉として、共生社会の一員としての自覚と行動力を培います。

*SDG sへの具体的な取組の推進と情報発信 *生徒会活動での取組の推進と情報発信 *「小中一貫教育」学力定着プロジェクトの充実 など

5) 家庭・地域に関すること

▲「地域とともにある学校」として、生徒の豊かな成長を、保護者と地域とが知恵を出し合い、地域運営学校（コミュニティ・スクール）として、地域に根付いた誇れる学校を目指します。

*学運協の発展、充実 *学校HP、各種たよりの活用と充実 *生涯学習センターとしての役割 など

6) 教職員に関すること

▲教育のプロとしての自覚と自信を高めさせ資質・能力の育成を図ります。

*校内研修の充実 *専門性向上研修や各主任研修、リーダー育成研修等 *OJT、OFFJTで個々のスキルアップに努める など

▲全体の奉仕者・教育公務員としての職責を果たします。

*スクールコンプライアンスの遵守 *ガバナンスの強化 *服務研修 など